



紀北町地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 概要版



計画策定の背景（なぜ計画を策定するの？）

「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、市町村への「地方公共団体実行計画（区域施策編）」の策定が義務付けられています。

本計画では、紀北町域から排出される温室効果ガス排出量の削減に向け、町民・事業者・行政が取り組むことをとりまとめています。

Q. 地球温暖化対策実行計画ってなあに？

A. 地球温暖化防止のために町民・事業者・行政が協力して取り組む、紀北町全体の計画です。

Q. 私も取り組まなきゃいけないの？

A. 行政の対策だけでなく、町民・事業者・行政、紀北町のみんなの協力が必要です。

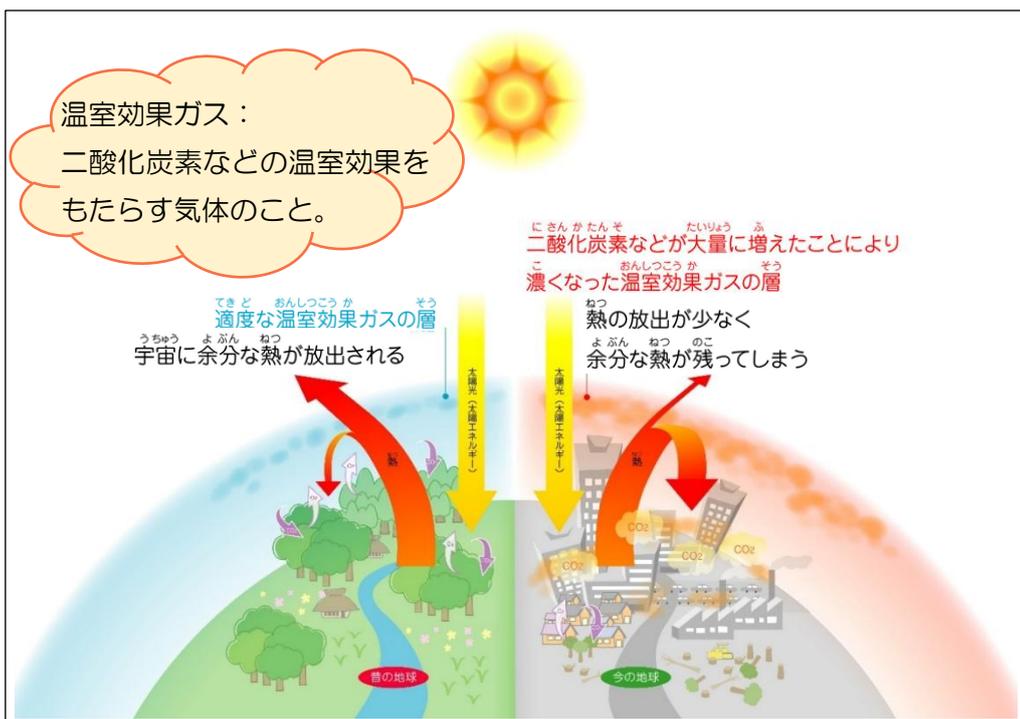
Q. 地球温暖化って本当に起きているの？

A. 国連の機関が発表した「気候変動に関する政府間パネル（I P C C）」の報告書において、「人間活動が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と示されています。

今後対策を実施しない場合、今世紀末までに気温が3.3～5.7℃上昇するとも予測しています。

Q. 地球温暖化が進むとどうなるの？

A. 近年の暑さや集中豪雨、台風といった異常気象の背景には、地球温暖化の影響が指摘されており、今後さらに影響が深刻化することが予測されます。



地球温暖化は、温室効果ガスの影響で進行していると考えられています。



出典：「こども環境白書 2012」（環境省）に追記

地球温暖化の概要

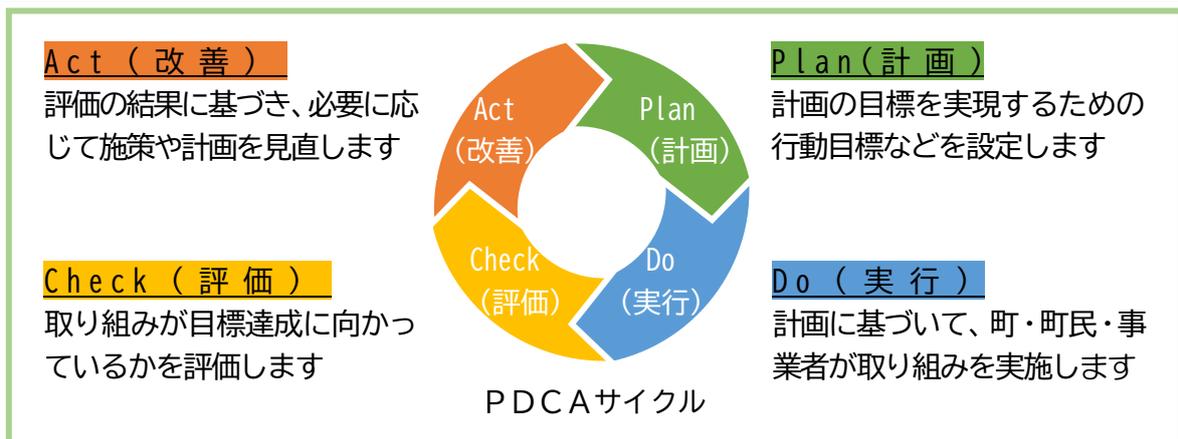
Q. 取り組んだ成果はどこかで見られるの？

A. みなさんの取り組んだ成果は、紀北町ホームページや広報紙等で公表予定です。

取り組み指標の例を以下に示します。

進捗管理は、PDCA サイクルにより継続的な推進と改善を図ります。

取り組み指標 例	現状	目標
セミナー、研修の開催等の普及啓発活動の参加	100人 (2023年度)	500人 (2030年度)
「いこかバス」、おでかけ応援サービス「えがお」の利用者数 いこかバス、えがおの利用数は、「紀北町地域公共交通計画」と連動します。	いこかバス 2,458人 (2023年度) えがお 7,343人 (2023年度)	いこかバス 2,710人 (2028年度) えがお 8,103人 (2028年度)
総ごみ排出量 (資源物を除く)	5,682t/年 (2023年度)	4,517t/年 (2030年度)
事業系：1事業所あたりのごみ排出量 家庭系：1人あたりのごみ排出量 (資源物を除く)	事業系 1.956t/年 (2023年度) 家庭系 263kg/年 (2023年度)	事業系 1.886t/年 (2030年度) 家庭系 245kg/年 (2030年度)



Q. 紀北町の取り組みだけで何か変わるの？

A. 取り組んだ成果をすぐを感じるのには難しいかもしれません。

今、日本全国や世界各国で地球温暖化防止のために取り組んでいます。

紀北町での取り組みは小さなことかもしれませんが、

一人ひとりが「できることを考え、行動に移すこと」が地球を守ることに繋がります。

地球温暖化を防ぐために、できることから対策をはじめませんか？



ごみの分別



節電



公共交通機関の利用

1. 紀北町のこれまでの動き

紀北町では、これまで町役場を中心に地球温暖化対策をしてきました。
更なる温室効果ガス排出量の削減に向けて、町民・事業者・行政が協力して取り組みましょう。

【紀北町地球温暖化対策実行計画】	(2009年～)
紀北町が行う事務及び事業の省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化など、職員全員で積極的に取り組んでいます。	
【ゼロカーボンシティ [※] 宣言】	(2021年3月表明)
多気町、大台町、明和町、大紀町、度会町との6町共同で2050年温室効果ガス排出量ゼロを宣言し、実現に向けて取り組んでいます。	
※ゼロカーボンシティ：2050年に二酸化炭素(CO ₂)の排出を実質ゼロを目指す自治体のことです。	
【脱炭素先行地域 [※] 】	(2024年9月選定)
多気町、大台町、明和町、大紀町、度会町、紀北町の6町が、環境省が公募する「第5回脱炭素先行地域」に選定されました。6町で共通する地域課題の解決、地域活性化の実現を目指して連携して取り組んでいます。	
※脱炭素先行地域：脱炭素の取組を全国に広めていくためのモデルとなる地域です。 国は、2025年度までに少なくとも100か所の選定を目指しています。	

2. 紀北町のアンケート結果

地球温暖化防止に関する取り組みの実施状況等について、町民(1,000人)、事業者(50事業者)にアンケートを実施しました。

アンケート調査でわかったこと

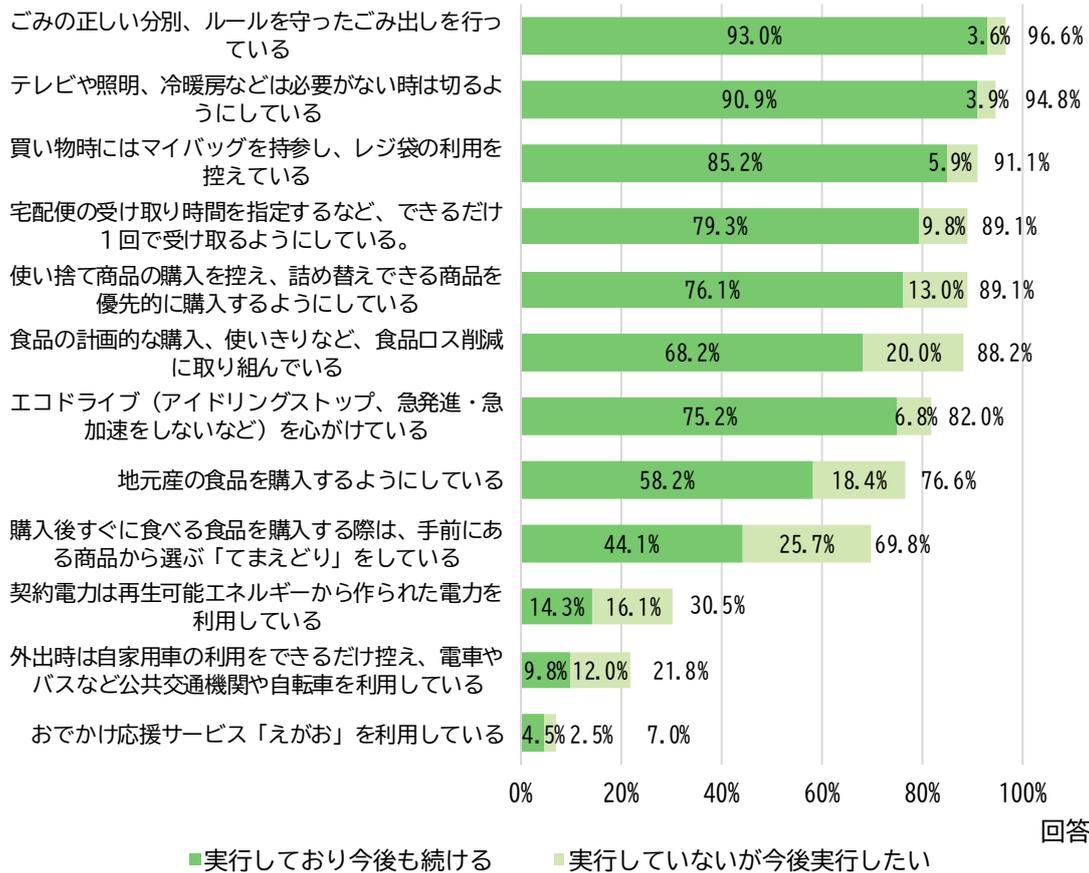
- ・町民は44%、事業者は50%の方がアンケートに回答してくれました。
町のみなさんの協力意識が高いことが伺えます。
- ・町民、事業者ともに地球温暖化に関する関心は高いことがわかりました。
- ・生活スタイルの見直しで実施可能な取り組みは、既に多くの町民が取り組まれていました。
- ・再生可能エネルギー設備の導入割合は低く、町民、事業者ともに認知度が十分でないことが要因と考えられます。

町として実施していくこと

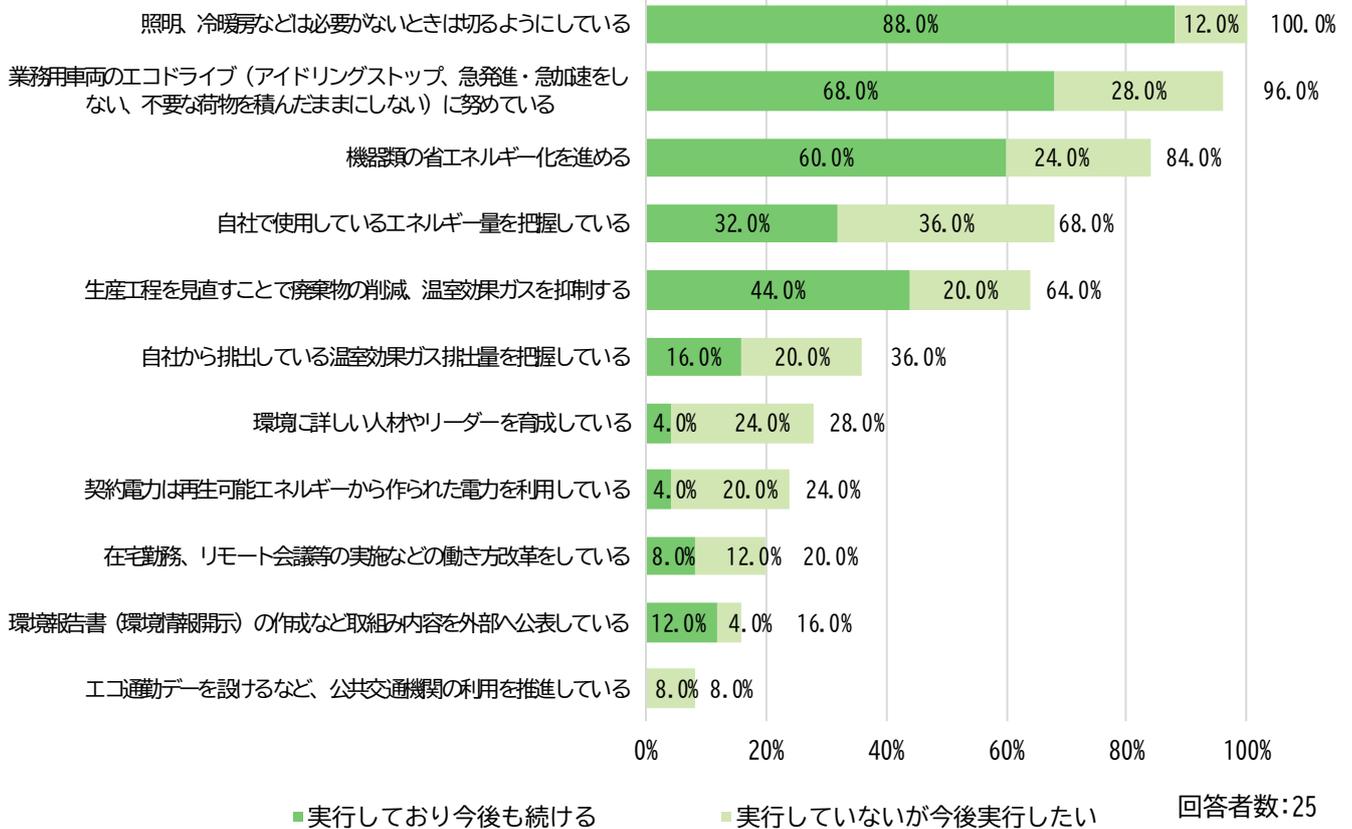
- ・地球温暖化対策に関する情報発信やセミナーの開催等、地球温暖化防止に関する取り組みを普及啓発していきます。



「ごみの分別」や「テレビや照明、冷暖房などはいらない時は切る」
など地球にやさしい生活を引き続き実施していきましょう！



日ごろ行っている地球温暖化対策への取り組み（町民）

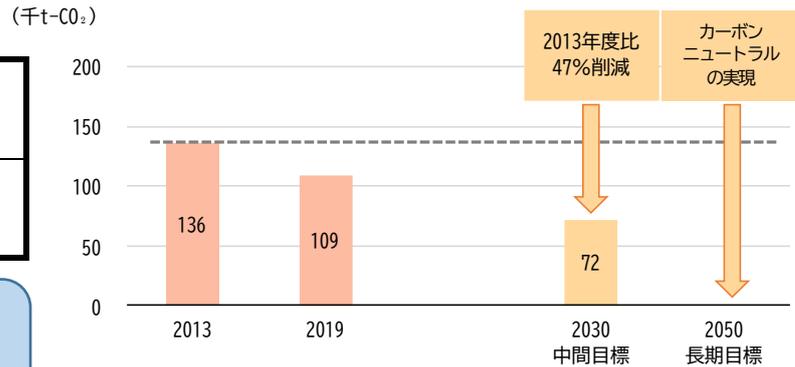


日ごろ行っている地球温暖化対策への取り組み（事業者）

※各数値で四捨五入を行っているため、合計などとは合わない場合があります。

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度 (中期目標)	2013年度比 47%削減
2050年度 (長期目標)	温室効果ガス 実質排出ゼロ*



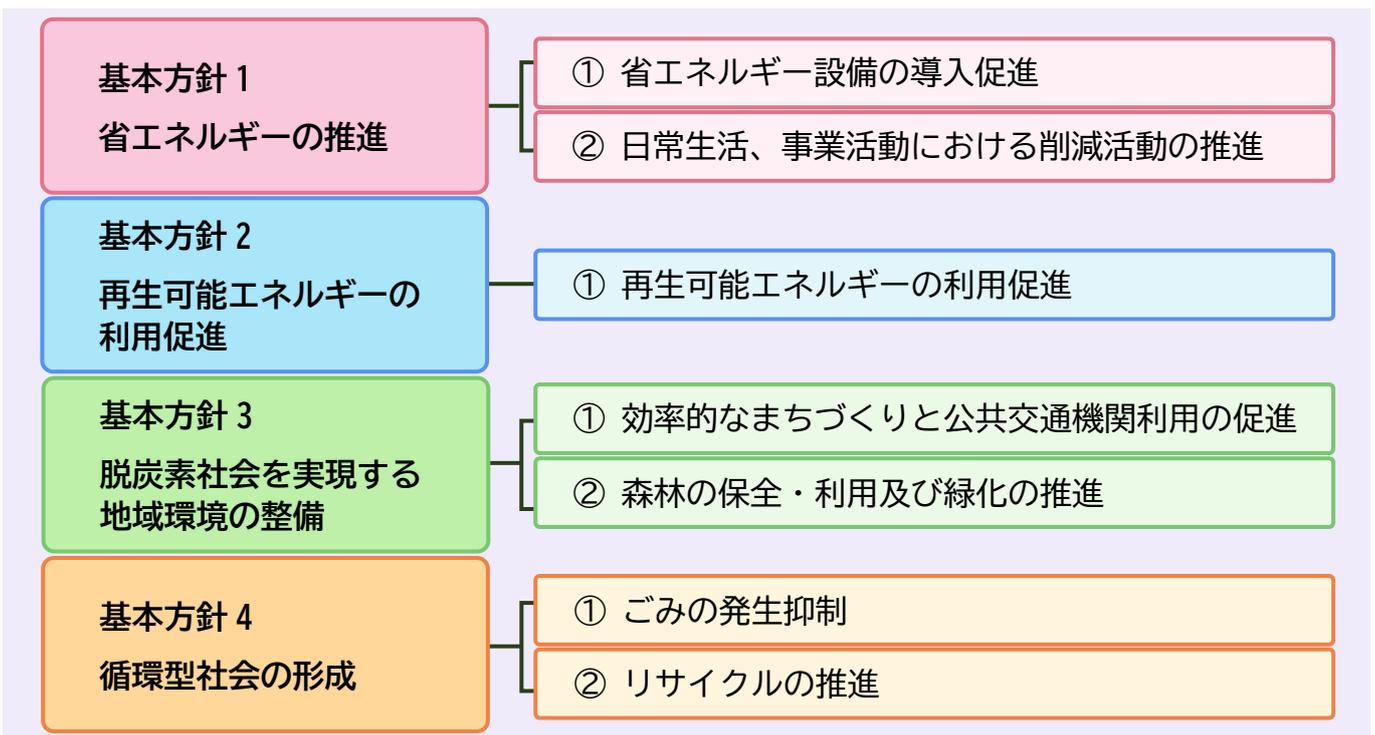
目標達成に向けて、
紀北町のみんな
で地球温暖化対策に
取り組みましょう！

温室効果ガスの削減目標 (紀北町)

※実質排出ゼロ (カーボンニュートラル)：温室効果ガスの「排出量」から森林などによる「吸収量」を差し引いてゼロにすること。

4. 温室効果ガス削減に向けた取り組み

本計画では、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、4つの基本方針を掲げ、7つの施策を展開していきます。



5. 再生可能エネルギーの導入目標

温室効果ガスの削減、地域の災害対策の強化のために再生可能エネルギーの導入を推進します。まずは、役所庁舎や学校への太陽光発電設備の導入を進めていきます。

2030年度までに再生可能エネルギーを設備容量で
700kW以上導入することを目指します

※700kW＝太陽光発電では、田んぼ約5.6反(5,600m²)分の面積が必要
(1kWの太陽光パネルにつき8m²のスペースを必要とすると想定した場合)

6. みんなで取り組もう！地球温暖化対策①

みんなに取り組んでほしい地球温暖化対策をまとめました。

今から取り組める地球温暖化対策① ～公共交通機関を利用しよう～

公共交通機関は環境に優しい乗り物と言われますが、電車やバスが環境に優しい訳ではなく、「みんなで乗り合うこと」が大切です。

いこかバス海野線（海野鏡神社～紀北町役場）の走行距離を 8.5km と仮定し、人が「各自が自家用車で移動した場合」と「乗り合わせてバスで移動した場合」の CO₂ 排出量を推計しました。

10 人が交通手段を「自家用車」から「いこかバス」に乗り合わせることで、5.5kg-CO₂ の削減につながります。

10人が自家用車で1台ずつ移動した場合	10人がバス1台で移動した場合
 <p>燃費：20km/L と仮定 CO₂ 排出量：9.9kg-CO₂ (8.5km÷20km/L×10台=4.3L)</p>	 <p>燃費：4.5km/L と仮定 CO₂ 排出量：4.4kg-CO₂ (8.5km÷4.5km/L×1台=1.9L)</p>

●例えば、CO₂ 1kg はどのくらい？

CO₂ 1kg は約 510L であり、お風呂の浴槽 約 2 杯分です。

今から取り組める地球温暖化対策② ～ごみを分別しよう～

一人ひとりがごみを出さないように努めるとともに、ごみの分別や食品ロスの削減、生ごみ処理機の活用により可燃ごみを減らしていきましょう。

現在よりも 1 人 1 日あたり 50g のごみを減らすことで、年間で 1 人あたり約 18kg のごみが減少します。

約 50g のごみの例

可燃物	・ごはん	お茶碗 1/3
	・食パン（8枚切り）	1枚
	・ミニトマト	5個
	・卵（Sサイズ）	1個
資源物	・A4コピー用紙	10枚
	・空の500mLペットボトル	2本
	・空の350mLアルミ缶	3本



紀北町では、2025年1月から「資源プラスチック」の分別を開始しました。詳細は紀北町ホームページをご確認ください。

6. みんなで取り組もう！地球温暖化対策②

ライフスタイルの見直しにより節電・省エネになるだけでなく、光熱費が今よりも安くなるなど節約につながる可能性があります。

取り組み	効果	節約額
電灯のLED化	取換えの回数が蛍光灯の 1/7	約 2,900 円/年
省エネ家電への買い替え	機能の向上で快適・便利	約 18,800 円/年 ※エアコン及び冷蔵庫を買い替えた場合
クールビズ・ウォームビズ	快適な服装で効率アップ	約 3,900 円/年
次世代自動車の導入	災害時の電源としても利用可能	約 75,000 円/年 ※車両維持費
エコドライブ	快適・安全にドライブ	約 9,000 円/年
公共交通機関や自転車の利用	近距離の交通手段を切り替えることでの健康増進	約 11,800 円/年
テレワークの実施	移動時間の削減、時間の有効活用	約 61,300 円/年
食品ロスの削減	無駄な支出の削減	約 8,900 円/年

※節約額は一定の前提により試算されたものであり、各家庭により異なります。
出典：「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動 デコ活」（環境省）
(<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>)

既に多くの町民が取り組んでいる取り組みを整理しました。

地球にやさしい生活ができているか普段の生活を振り返ってみましょう！

紀北町での

No.	地球にやさしい 取り組み	実行割合
1	ごみの正しい分別、ルールを守ったごみ出しをしている	93%
2	テレビや照明、冷暖房などは必要がない時は切るようにしている	91%
3	買い物時にはマイバックを持参し、レジ袋の利用を控えている	85%
4	宅配便は、受け取り時間を指定するなど、できるだけ1回で受け取るようにしている	79%
5	使い捨て商品の購入を控え、詰め替えできる商品を優先的に購入するようにしている	76%
6	エコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速をしないなど）を心がけている	75%
7	食品の計画的な購入、使いきりなど、食品ロス削減に取り組んでいる	68%
8	照明は、LED照明などの高効率照明に変えている	62%

紀北町地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 概要版

令和7(2025)年3月

発行：紀北町役場 編集：環境管理課
〒519-3292 三重県北牟婁郡紀北町東長島 769 番地 1
電話：0597-46-3121 FAX：0597-47-5906